

道祖神お札配り

村井町の伝統行事

11月26日村井町南部・北部児童会5・6年女子と役員で、代々引き継ぐ版木を使って、道祖神札づくりを行いました。

▲村井町南部の版木

▲村井町北部の版木

▲それぞれの版木を元に一枚一枚丁寧に刷りました。

小正月前の1月7日、南北の児童全員で少人数に分かれ、近隣の各家庭にお札配りを行いました。

北部は、以前は児童2人で祠を持ってお札配りを行っていたようです。

▲村井町第二公民館に保管してある祠




芳川公民館報
祝
400号記念

平成29年1月1日 現在
総世帯数 7,389世帯
総人口 16,880人
男 8,437人
女 8,443人

三九郎

が行われました

芳川の青空のもと 一年間の無病息災を願い

小正月の伝統行事といえばやはり三九郎。昔から三九郎の残り火でまゆ玉を焼いて食べると「虫歯にならない」「腹が痛くならない」「書初めの習字を燃やして火が高く上がると上手になる」などと言われています。今年も1月始め各町会にて老若男女大賑わいで「三九郎」が行われました。いつまでも大切に守り、伝え続けたい伝統行事です。



北原町



平田



長久町



村井町



溝郷



美芳町



木上



小屋



▲小屋第一公民館外観

12月25日小屋第一公民館の耐震改修工事が完了し、竣工式が開かれました。
災害時の避難所機能を兼ねてきたバリアフリーの新しい公民館は、ホール・和室・洋室・調理室があり、身障者用のトイレも備えています。
町民が語り合うコミュニティの場・災害時の避難場所として利用されます。

小屋第一公民館が 完成しました

恒例のそば打ち講習会
男子も積極的に厨房に入ろうと作られた「芳川男厨会」。福祉ひろばを拠点に、活動しています。
毎月一回の開催で、豚キムチ丼、ブラジル料理、手巻き寿司などにチャレンジ。年末の締めは、村井町の清水和夫さんを講師に、そば打ち講習会を開きました。
自分の打ったそばは格別でしたが、先生のそばは破格の美味しさでした。
男厨会に参加ご希望の方は、福祉ひろばまで。(電話57-0168)



芳川小学校4年生が、今年もスクールファーム支援会の協力のもと、野溝ぼうき作りを行いました。
6月下旬の種まきに始まり、8月下旬の収穫と、きびの実の脱穀。その後の2か月は、クラスごと交替で乾燥させ、11月末にようやく「ぼうき」作りになりました。
講師は野溝ぼうき生産組合の方3名で、天候不順で材料のほうきびが不足して全員が作れるか心配でしたが、組合の方のご協力により全員が作ることが出来ました。

ぼうき作りに挑戦



公民館当番の「ふれ健」実施されました



12月21日福祉ひろばで今月の「ふれ健」が芳川公民館のイベント当番で実施されました。
最初にハンドベルのサークルの皆さんにより、クリスマスにちなんだ演奏が行われ、続いて軽運動を行いました。そして今回のメインイベントの松本検定クイズが、柏澤公民館長より出されました。
なかなか難しい問題で全問正解とは行きませんでした。最後は館長の軽妙な解説を交え行われました。最後は館長とのジャンケンゲームで勝った方に、長芋などが贈られこのイベントも終了しました。

芳川の今昔物語 第20話 国道を走るボンネットバス



その昔.....



▲昭和30年代撮影か?

ツトバスの特徴でした。国道19号はまだ舗装されておらず、村井から流れてくる芳川用水125号は自然流路のままです。

現在.....



▲撮影平成29.1.12

国道19号は渋滞しており、芳川用水125号は暗渠化されて歩道になり、昔の面影は何処にも残っていません。

小屋町会長 故宮澤孝紀氏を 悼んで



氏は12月16日午後8時半ごろ道路を横断中に不慮の事故に遭遇され逝去されました。74才でした。

松本市の職員として37年間勤務され、平成14年に松本広域消防局長を最後に退職、平成21年から現在まで小屋町会長を8年務められました。その間、町会連合会会計や、防災防犯協会の会長として総合防災訓練等、地区の安全安心に陣頭指揮を執られ大きく貢献されました。

また、小屋第二公民館の新築や、第一公民館の耐震向上の改修を完成されました。

告別式は21日にJ A虹のホールで執り行われ、最後のお別れに約200名の方が参列され、交友の広さと人徳が偲ばれました。氏のご冥福を衷心よりお祈りいたします。